

## 財務諸表[ 連結 ]

### 連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

(平成18年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>	<b>(21,034)</b>	<b>負債の部</b>	<b>(15,053)</b>
流動資産	8,124	流動負債	9,023
現金及び預金	704	支払手形及び買掛金	4,330
受取手形及び売掛金	3,214	短期借入金	1,846
たな卸資産	3,391	コマーシャル・ペーパー	270
その他	812	一年内償還社債	229
固定資産	12,910	その他	2,348
有形固定資産	9,766	固定負債	6,029
建物及び構築物	2,938	社債	1,952
機械装置及び運搬具	4,229	長期借入金	2,711
その他	2,598	その他	1,364
無形固定資産	155	<b>純資産の部</b>	<b>(5,981)</b>
投資その他の資産	2,988	株主資本	5,053
投資有価証券	2,107	資本金	2,333
その他	880	資本剰余金	832
		利益剰余金	1,901
		自己株式	13
		評価・換算差額等	502
		少数株主持分	425
<b>資産合計</b>	<b>21,034</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>21,034</b>

(注)金額は億円未満の端数を切り捨てております。

総資産は、原材料価格の上昇などによるたな卸資産の増加や、事業競争力強化のための戦略投資、及び安定生産に不可欠な更新投資を実施したことなどにより、前期末に比べて292億円増加し、2兆1,034億円となりました。  
株主資本は、186億円の配当を実施する一方、中間純利益を515億円計上したことなどから、前期末に比べて329億円増加し5,053億円となりました。これらの結果、当期末の株主資本(評価・換算差額等502億円を含む)比率は26.4%となりました。

### 連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

科目	金額
売上高	8,988
売上原価	7,232
売上総利益	1,756
販売費及び一般管理費	767
営業利益	988
営業外収益	266
営業外費用	381
経常利益	873
税金等調整前中間純利益	873
法人税、住民税及び事業税	292(減算)
法人税等調整額	43(減算)
少数株主利益	22(減算)
中間純利益	515

(注)金額は億円未満の端数を切り捨てております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	665
投資活動によるキャッシュ・フロー	515
財務活動によるキャッシュ・フロー	406
現金及び同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額	257
現金及び現金同等物の期首残高	954
連結範囲の変動による増減額	1
現金及び現金同等物の中間期末残高	699

(注)金額は億円未満の端数を切り捨てております。

## 連結株主資本等変動計算書の要旨

(単位:億円)

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
前期末残高	2,333	831	1,572	13	4,724	575	385	5,685
当中間期中の変動額								
剰余金の配当			186		186			186
役員賞与			0		0			0
中間純利益			515		515			515
株式交換		1		0	1			1
自己株式の取得				1	1			1
自己株式の処分		0		0	0			0
連結及び持分法適用範囲 の変更に伴う減少高			2		2			2
土地再評価差額金取崩額			2		2			2
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)						73	39	34
当中間期中の変動額合計	-	1	328	0	329	73	39	295
当中間期末残高	2,333	832	1,901	13	5,053	502	425	5,981

(注)金額は億円未満の端数を切り捨てております。

キャッシュ・フローについては、税金等調整前中間純利益873億円や減価償却費411億円の計上に対し、法人税などの支払額が514億円であったことなどにより、当上半期の営業活動によるキャッシュ・フローは665億円となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出などにより515億円の支出となりました。営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計した当上半期のフリー・キャッシュ・フロー149億円の現金及び現金同等物の取り崩しなどを加えたものを原資とし、外部負債の削減や配当金に充当したことなどから、財務活動によるキャッシュ・フローは406億円となりました。